

調べておこう!

住宅メンテナンス チェックポイントシート



家が完成したら、日々のお手入れや掃除はもちろん、定期点検やメンテナンスをしっかりと行うことが大切です。適切なメンテナンスを心がけることで、劣化や不具合を早く発見し、家を安全・快適に長持ちさせることができます。

〈チェックする前の準備〉



Step 1 住宅メンテナンスチェックポイントシートを持って点検箇所を見に行こう

設計図と『住宅メンテナンスチェックポイントシート』を持って、ひび割れや劣化している箇所がないか定期的に建物の点検をしましょう。ただし、屋根や床下など、危険が伴う箇所を点検する場合には、外から見える範囲の確認に留め、決して無理をせず専門業者に依頼しましょう。新築住宅の場合には、ハウスメーカーや工務店が半年、1年、2年、5年、10年などの期間で定期点検を実施することが一般的です。日常的な点検の記録を残すことで、専門業者への相談もしやすくなります。



危険が伴う箇所の点検は専門の事業者さんに依頼を

※キッチンやお風呂などの住宅設備については、一般社団法人リビングアメニティ協会 (<http://www.alianet.org/>) が不具合や異常の有無を簡単にチェックできるツールをサイトで公開していますので、そちらも参考にしてください。

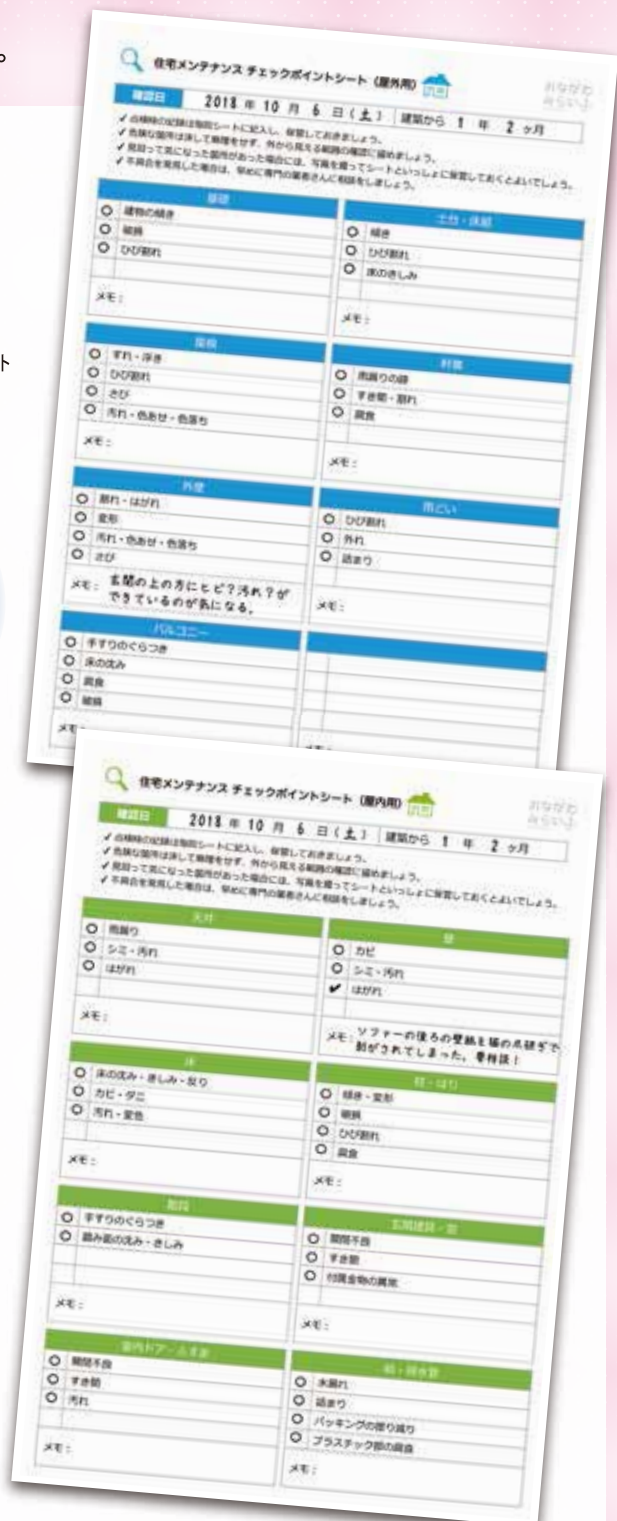
Step 2 加入している住宅の保険を確認しよう

現在の新築住宅は、家屋の性能評価や基準を設けることで、一定以上の品質を確保することが義務付けられています。各種保証の保証期間や適応内容をよく確認し、不具合を発見した場合は速やかにハウスメーカーや工務店に相談しましょう。

また、火災保険プランとうまく組み合わせることによって、日常生活の事故まで幅広く備えることができます。加入の際は補償内容をよく確認しましょう。

Step 3 不具合を見つけたら速やかに専門家に相談しよう

点検の結果、少しでも気になる部分や不具合があった場合には、専門業者に相談したり、修繕工事を実施するなど、できるだけ早めに対処をしましょう。不具合をそのまま放置すると、状態が悪化し、元通りにするのに予想外の費用や時間がかかってしまうこともあります。





住宅メンテナンス チェックポイントシート (屋内用)



おながわ
みらいふ
(Onagawa Me Life)

確認日	年 月 日 ()	建築から	年 月
-----	-----------	------	-----

- ✓ 点検時の記録は毎回シートに記入し、保管しておきましょう。
- ✓ 危険な箇所は決して無理をせず、外から見える範囲の確認に留めましょう。
- ✓ 見回って気になった箇所があった場合には、写真を撮ってシートといっしょに保管しておくといでしょう。
- ✓ 不具合を発見した場合は、早めに専門の業者さんに相談をしましょう。

天井	
	雨漏り
	シミ・汚れ
	はがれ
メモ：	

壁	
	カビ
	シミ・汚れ
	はがれ
メモ：	

床	
	床の沈み・きしみ・反り
	カビ・ダニ
	汚れ・変色
メモ：	

階段	
	手すりのぐらつき
	踏み面の沈み・きしみ
メモ：	

玄関建具・窓	
	開閉不良
	すき間
	付属金物の異常
メモ：	

室内ドア・ふすま	
	開閉不良
	すき間
	汚れ
メモ：	

給・排水管	
	水漏れ
	詰まり
	パッキングの摩耗・プラスチック部の腐食
メモ：	

換気設備	
	作動不良
	汚れ
メモ：	